

授業概要

本講義では、日本企業の経営活動の中でも、コーポレートガバナンスに焦点を当てて講義を行う。コーポレートガバナンスとは、手短かに言えば、経営者が、法律や社会的なルールを守りながら企業価値を高める経営を実践していくための規則、仕組みづくりのことである。このように、コーポレートガバナンスは洋の東西を問わず、企業の存続・成長を決定づける重要な経営活動ではあるものの、その制度や実践は世界共通ではなく、各国がその実情に合わせた制度を採用し、実践しているのが現状である。それを踏まえるならば、日本企業を取り巻くコーポレートガバナンスの制度や日本企業におけるコーポレートガバナンスの実践を検討することにより、日本企業の経営活動の特質の一端を明らかにできるものと考えられる。

そこで本講義では、コーポレートガバナンスをメインテーマとして取り扱い、日本におけるコーポレートガバナンスの発展や改革のプロセス、その実践の現状と問題点、必要に応じて欧米のコーポレートガバナンスと比較することにより、日本企業の経営の特徴を明らかにしていきたい。

授業計画

第 1 回	ガイダンス、コーポレートガバナンスと日本企業
第 2 回	日本企業におけるコーポレートガバナンスの変遷①（戦後～バブル崩壊）
第 3 回	日本企業におけるコーポレートガバナンスの変遷②（バブル崩壊以降）
第 4 回	日本における株式会社の仕組み
第 5 回	日本企業における株主総会
第 6 回	日本企業における取締役会
第 7 回	日本企業における監査役会（委員会設置会社含む）
第 8 回	日本企業における執行役員
第 9 回	日本企業における経営者報酬
第 10 回	日本企業における経営者支配
第 11 回	日本企業における M&A と買収防衛策
第 12 回	日本企業における内部統制
第 13 回	「伊藤レポート」と日本企業における企業価値の向上
第 14 回	日本版スチュワードシップコードと日本企業における機関投資家
第 15 回	日本版コーポレートガバナンス・コードと日本企業経営の今後
第 16 回	

到達目標

- ・日本企業のコーポレートガバナンスの特徴を理解することにより、日本企業の経営の特徴を説明できるようになること。
- ・日本企業のコーポレートガバナンスの仕組みについて企業の事例を用いながら説明できるようになること。
- ・上場企業のコーポレートガバナンス報告書の内容を理解し、自分なりに分析できるようになること。

履修上の注意

講義内容は経済・社会の動きと関わりが深いので新聞・ニュースをチェックする習慣をつけること。

予習・復習

予習：シラバスを見たとうえで、各トピックに関する書籍を読み、自分なりに問題点を整理すること。

復習：講義中配布したプリントを読み込んでおくこと。講義に関わるニュースなどを調べ、理論と実態のつながりを自分なりに考えること。

評価方法

- ・授業内課題 75 点（1 回 5 点×15 回）
- ・レポート 25 点（上場企業のコーポレートガバナンス報告書分析）

テキスト

指定しない。参考書は講義内で紹介する。